

たまごの名前はどこからきた？

～いいたまごの日イベントの紹介～

岡山県養鶏協会

11月の記念日は...

11月3日：文化の日

11月4日：ユネスコ憲章記念日

11月5日：いいたまごの日

11月6日：アパート記念日などなど

この中で今年、新たに決まった記念日があります。わかりますよね。

もちろん正解は11月5日の「いいたまごの日」。これは知ってるようで意外に知られてない「たまご」のことを皆さんにもっと理解してもらい、もっと好きになってもらうことを目的に、養鶏・鶏卵業界の統一的なイベントが実施できるよう(社)日本養鶏協会の提唱で制定されたもので、記念すべき第1回の「いいたまごの日」イベントが去る11月5日に各地で行われたので、内容を紹介させていただきます。

○なぜ11月5日？

11月5日に決まった理由は簡単。11月5日→1105→11(いい)0(たま)5(ご)の日です。ちゃんとつながったでしょ？

その日に向けてイベントをPRしていきましょう...ということで、キャラクターをあしらったロゴも完成。

全国イベントとして、たまごの思い出をテーマにしたエッセイコンテスト、た

まご料理教室、講演会などが企画される一方、全国各地でも様々な“たまご”イベントが開催されることとなりました。

○岡山大会も開催

岡山県は全国第6位のたまご生産量を誇る産地。県内での盛り上げにも一役買いましょうということで、関係者の多大なる協力のもと倉敷市内のスーパーを会場として10月31日にプレイベント、11月5日に当日イベントを開催しました。会場ではたまごの重量当て大会と一ツ星タマリエ検定を実施。タマリエ検定は(タマリエ検定が気になる方は後半で詳しく紹介するので少しお待ちを)2日間であんと700人を越える方々が受検してください。7問のタマリエ問題を受けていただき、写真のタマリエ認定証を持ち帰っていただきました。中には間違えた方もおられましたが、答え合わせでちゃんと正解がわかれば立派な“タマリエ”。認定証もお出しします。



タマリエ受検時はみんな真剣そのもの
(右下は受検者に渡された認定証)



タマリエ検定の横で盛り上がったのは重量当て大会。用意したカゴに2kgぴったりのたまごを入れることができたなら、カゴ毎お持ち帰りができるというもの。

岡山畜産便り 2011.01

2kg の見本はあるんですが、これがなかなか難しい。10g 単位での正確さが求められるため、2.01kg や 1.99kg で涙を飲む参加者も多くおられました。結果としては挑戦者 100 人（これもぴったり）のうち、8 人が見事ピタリ賞でたまごを持ち帰られました。すごい！

ちなみに、筆者の記録は 2.4kg。いや、ほんと難しかったんですよ…



重量あて大会は盛り上がりましたよ～

○タマリエ検定でたまごの伝道師に

さて、最後は岡山のイベントでも実施したタマリエ検定の紹介です。正式には「たまごソムリエ検定」、略して「タマリエ検定」です。果たしてたまごソムリエとは???

これはたまごについての魅力や、より正確な知識を身につけた人々に与える称号として(社)日本卵業協会がスタートさせた制度で、クイズという形で楽しく、しっかりたまごを理解してもらおうというこの検定、HP からどなたでも挑戦可能です。資格は「一ツ星・三ツ星・五ツ星」の3ランクに分かれており、現在受検できるのは入門編の「一ツ星」検定のみ。難易度が上がる三ツ星と五ツ星はただいま準備中で、受付開始は来年以降になります。

タマリエの資格を取得した方には、たまごの素晴らしさを世に広めていく伝道

師として元気に楽しく活躍することを期待しています！身近にあるけど、知っているようで知らないたまごのあれこれを、この機会にぜひ知ってください。

クイズに正解すると前述の名前入りの「合格認定証」ももらえますよ。

HP アドレスは

<http://www.nichirankyo.or.jp/tamarie/>

「たまごソムリエ」や「タマリエ」のキーワードでも HP の検索ができます。

さて、タイトルで紹介したクイズ。実はこれもタマリエ問題の一つです。でも、みなさんに受検してもらうために答えの紹介は控えておきま～す。HP でチャレンジしてみてくださいね。

○おわりに

さて、この原稿が印刷されるのは 1 月。もう今年のイベントは終わってるじゃないかと思われた方もおられるかもしれませんが、でも、「いいたまごの日」は始まったばかり。今後、どんどん活動の輪を広げていくので来年の 11 月 05 日はもっと盛り上がりますよ！皆さんの参加もお待ちしております。

あっ、11 月だけじゃなく毎月 5 日も「たまごの日」になることが決まりました。これからはこのロゴを見かける機会も増えてくると思いますので、ロゴに気づいたら家族の方やお仲間たちに「たまご」の話題を出してもらえたら嬉しいです。もちろんそのときには“タマリエ”として身につけた知識を紹介するのもお忘れなく。

